



約100人が腕を競ったスポーツ吹矢阪神地区大会＝芦屋市立体育館・青少年センター

スポーツ吹矢 100人腕前競う

芦屋で地区大会

高齢者の間で人気を集めている「スポーツ吹矢」の阪神地区大会

1・2歳の筒に込めた20センチの矢を直径24センチの的に当て、点を争う。

が、敬老の日の16日、芦屋市立体育館・青少年センター（川西町）であった。日本スポーツ吹矢協会芦屋支部の主催で3回目。市内外から40～80代の男女約100人が参加して腕前を競った。

スポーツ吹矢は長さ

腹式呼吸を取り入れた動きが健康によいとき、競技人口が拡大している。

個人戦では級・段位に応じて、10～6歳の距離で対戦。団体戦は5人一組で、集中力を高めながら的の中心に狙いを定めていた。

最年長の川口幸雄さん(84)は西宮市は3年前から始め、2段の腕前。「年齢や男女のハンディが小さく、夢中になれる。長く続けたい」。芦屋支部長の神崎喜一郎さん(72)は「体への負担が少ないので、もっと中高年に広めたい」と話した。

(田中真治)

成績は次の通り。

- 【個人戦】6歳 ①高見昭裕 ②清水千尋 ③川村安子
- ▽8歳 ①森哲 ②脇本洋 ③番場好子
- ▽10歳 ①岩田精二 ②中田晴久 ③井上恵波
- 【団体戦】①芦屋A ②西宮B ③コープ塚口A